


JICA・JST・AMED 主催

科学と開発をつなぐブリッジ・ワークショップ（ご案内）**「会って・驚いて・役立てる」**

世界の開発目標としてSDGsが提唱され、科学技術分野においても、科学技術による変革やイノベーションを通じて社会の開発に寄与することが一層求められています。日本政府は、科学技術とODAを連携させるプログラムとして「地球規模課題対応国際科学技術協力（SATREPS：サトレップス）」を創設し、現在までに47ヶ国で125案件を実施しています。そこで、SDGsへの貢献に向けて、科学技術の成果を開発協力につなげることを目的に、研究者から開発協力を携わる方へ、SATREPS事業とその研究成果を紹介し、両者が意見交換するワークショップを開催します。**開発協力を携わる方が、開発途上国の課題解決に挑む研究者に会って、新しい技術や知識に驚いて、開発協力の中で役立てる機会を提供します。**研究者の方には、国際協力従事者との交流を通じ、研究成果の更なる社会還元への着想を広げる場を提供します。近い将来、この出会いが虹色の懸け橋になることを期待して。

- 
- ◇ 日時：8月28日（月）（午前と午後の部に分けて実施）
 - ◇ 会場：JICA 研究所（東京・市ヶ谷）国際会議場
 - ◇ 発表者：最終年（5年目）を迎える SATREPS 案件の研究代表者
 - ◇ 聴講者：国際機関、コンサルタント企業、一般企業、開発 NGO、研究関係者など
 - ◇ 時間割：午前の部（環境・低炭素社会・防災の分野）と午後の部（生物資源・感染症の分野）に分けて開催します。次ページ以降をご覧ください。
 - ◇ 言語：日本語
 - ◇ 聴講申込み：参加費無料の事前予約制です。以下の情報をメールアドレス eigst@jica.go.jp に送付願います。午前・午後の部毎に定員（100名）になり次第、受付を終了します。返信にて聴講の可否をお知らせします。

- 聴講希望者の所属組織・部署、氏名、E-mail、Tel（本件以外の目的には使用しません。）
- 聴講希望の時間帯：午前、午後、どちらでも可のいずれかをご指定ください。
- 事前アンケート：以下の質問への回答をお知らせください。
 - ① 従事されている業務の内容は何ですか？
 - ② 環境、低炭素社会、防災、生物資源、感染症のうち関心のある分野は何ですか？
 - ③ 現在の業務で科学技術による解決が必要となる機会がありますか？それはどのような場面ですか？
 - ④ 途上国の開発協力に向けた科学技術への期待は何ですか？

- ◇ 主催：国際協力機構（JICA）科学技術振興機構（JST）日本医療研究開発機構（AMED）
- ◇ 後援：国際連合工業開発機関（UNIDO）東京事務所 国際協力 NGO センター（JANIC）
一般社団法人 Japan Innovation Network
- ◇ 事務局連絡先：JICA 社会基盤・平和構築部国際科学技術協力室（担当：下田・岸本）
E-mail：eigst@jica.go.jp Tel：03-5226-8114

科学と開発をつなぐブリッジ・ワークショップ<スケジュール>

1. 午前の部（環境・低炭素社会・防災の分野）

- 09 : 00 開場
- 09 : 30 開会の挨拶（15分）
- 09 : 45 SATREPS プログラムの説明（15分）
- 10 : 00 環境・低炭素社会・防災分野 4 案件の研究者から発表（20分 × 4 案件 = 80分）
- 11 : 20 研究者と聴講者との意見交換（40分）
- 12 : 00 閉会の挨拶（10分）
- 12 : 10 ワークショップ終了（会場外で交流会）
- 13 : 00 解散

研究成果を発表する 4 案件（最終年を迎える SATREPS 案件）

分野	国	案件名	研究代表機関	発表者(予定)
環境	パラオ	サンゴ礁島嶼系における気候変動による危機とその対策	琉球大学	中村 崇 理学部准教授
環境	アルゼンチン・チリ	南米における大気環境リスク管理システムの開発	名古屋大学	水野 亮 宇宙地球環境研究所教授
低炭素社会	マレーシア	生物多様性保全のためのパーム油産業によるグリーン経済の推進	九州工業大学	白井 義人 大学院生命体工学研究科教授
防災	トルコ	マルマラ地域の地震・津波災害軽減とトルコの防災教育	海洋研究開発機構	金田 義行 地震津波海域観測研究開発センター 上席技術研究員



パラオ サンゴ礁の潜水調査



アルゼンチン 紫外線量測定

科学と開発をつなぐブリッジ・ワークショップ<スケジュール>

2. 午後の部（生物資源・感染症の分野）

- 13：30 開場
- 14：00 開会の挨拶（15分）
- 14：15 SATREPS プログラムの説明（15分）
- 14：30 生物資源・感染症分野 4 案件の研究者から発表（20分×4案件＝80分）
- 15：50 研究者と聴講者との意見交換（40分）
- 16：30 閉会の挨拶（10分）
- 16：40 ワークショップ終了（会場外で交流会）
- 17：30 解散

研究成果を発表する 4 案件（最終年を迎える SATREPS 案件）

分野	国	案件名	研究代表機関	発表者(予定)
生物資源	インドネシア	インドネシアにおける統合バイオリファインリーシステムの開発	神戸大学	荻野 千秋 大学院工学研究科教授
生物資源	メキシコ	メキシコ遺伝資源の多様性評価と持続的利用の基盤構築	筑波大学	河瀬 眞琴 生命環境系教授 (研究代表者代理)
生物資源	ケニア	テーラーメード育種と栽培技術開発のための稲作研究	名古屋大学	山内 章 大学院生命農学研究科教授
感染症	ザンビア	アフリカにおけるウィルス性人獣共通感染症の調査研究	北海道大学	高田 礼人 人獣共通感染症リサーチセンター教授



ケニア イネ品種の交配作業



ザンビア 検体検査